

東京三高会だより

第28号

平成23年6月1日発行

# 二本野々原

東京三高会

青森県立  
三本木高等学校  
同窓会東京支部

発行責任者 佐々木文雄/事務局 〒181-0001 東京都三鷹市井の頭 3-21-13 田制則子方 Tel&Fax 0422-43-7763 編集責任者 佐藤文哉

東京三高会の皆さん、東日本大震災がありましたがお変わりないでしょうか？東北へ寄せられる世界中、日本中からのたくさんの応援。うれしいですね。私たちもしっかり支え続けていきたいと思います。今年の第33回東京三高会は、昨年と同じ会場です。同窓生との語らいのとき、ご参加お待ちしております。



## 支援チーム、陸前高田へ(4.10)

東京に戻り、友達の協力で集めた物資を積んで現地に入った。

【大船渡】街に入った途端に、ウツと息を飲んだ。瓦礫の山が延々と続く。はるか遠くまで残骸だけの山だ。なんだこれは！

【陸前高田】なんと、もっとひどかった。異臭が漂う残骸だらけの街！涙が流れる。言葉が出なかった。どうしようもない脱力感。プレハブの仮庁舎に積んできた物資を納品。帰り道4人の気仙沼の漁師に会った。「船をすべてなくした」という。僕は車に戻った。「ラーメン入ってます。もらってください」「いいんですか？」4人は立ち上がりて礼をしてくれた。もう一度車に戻って、米を一袋、「これも」と置いてきた。日焼けした漁師の顔がくしゃくしゃ

になって…たまりませんでした。一緒に来た友人と別れて、もう一度大船渡に。ぞっとする廃墟の街を一人で歩きたかったから。片づけをしている家族3人がいた。「水は？」「給水です」「じゃ、水もらってください」僕は車に走った。24本の水を抱えてもどった。それを差し出して、また僕は車に走った。まだ米が一袋残っていた。「これももらってください。頑張ってください」…女の人がうるうるしていたので、僕は一礼して車に戻った。お父さんらしき人が走ってきた。青森生まれで帰る途中で寄っただけだから、という僕に「サンマでも獲れたら送ります」って…たまらない。東北人はたまらないよ。

### 再建しよう東北、支えよう東京から

## 東北を支援していくという事は 私たち自身が変わっていくこと

写真家 岩木 登 (S46年卒)

震災時、青森県東北町に滞在中だった東京三高会の岩木さんは、手持ちの物資で緊急援助をしながら被災地の写真を撮り続けた。震災から2週間後、東京で友人たちと支援チームを結成。直接ワゴン車で物資を届ける活動を開始した。

被災地で感じたことは人々の優しさです。饑舌ではなく、忍耐強く、人とのつながりを大事にする。私利よりも公利、自然を敬う。そんな東北人とは何なんでしょう。多くの日本人が忘れかけていた日本のあるところ、そのもの。そんな東

北がいま救いを求めている。自己保身、責任逃れに冷や汗を流す人、食糧や水を買いだめする人、エネルギー大量消費……。原発とはなんですか？ 私たちは忘れかけてきたんです、もっともっと大事なものを。誤解を恐れずに言うと、津波と原発の事故は、天が与えてくれた試練なのであって、私たちに与えられた最後の機会です。ええ最後です。今も危ないけど、この次もあつたらおしまいです。変わらなければ、大事なものはそのことです。(大田区在住)

## 第32回「東京三高会総会・懇親会」開催

第32回

昨年七月三日(土)、第十二回東京三高会が、日比谷公園の緑が眼下に広がる日本記者クラブ(日本プレスセンタービル)を新会場とし、約九〇名の参加者を迎えて開催されました。長谷川光治校長、招待恩師の桜田泰弘(前弘前高校長・S41年卒)、各ご招待者をはじめ、還暦を迎えたグループ、新卒生を交えての懇親会は多士済々、なごやかな情景でした。テノール歌手の滝沢健作さんのミニ独唱会があり、会場担当の女性従業員も手を休め聞き耳を立てる程。また、新企画の「スベシャルプレゼント」では、十和田市サイドと会員有志から提供してもらった自身の作品(出版物、CD、絵、Tシャツなど)の抽選会が行われ、当選者はみな大喜び。あつという間に定刻を迎え一次会は終了。二次会はそのままビル地下にある居酒屋に七割の出席者が流れ込み、尽きぬ話に花が咲きました。





長谷川校長先生停年ご退職、赤坂校長が赴任されました

校長メッセージ

### 知識基盤社会における 三高教育の指針

校長 赤坂 寿



東京三高会の皆様、はじめまして。この四月に赴任致しました赤坂と申します。簡単に自己紹介を。大学を卒業し、教諭として三校勤務後、県教育センターや県教育庁の業務に携わりました。その後教頭として三校経験し、今春から三高にまいりました。八戸市出身、現在十和田市内で単身赴任中です。もとより浅学非才ではありますが、どうぞよろしく願っています。

四月早々、多くの三高生が、明るく爽やかに「こんにちは」と声を掛けてくれました。なんて清々しい生徒達なのだろうというのが私の第一印象でした。その後約二ヶ月経ちますが、三高生の素晴らしさは勿論のこと、PTA・後援会・同窓会や地域の方々の三高に寄せる熱い期待も強く感じ、校長として身の引き締まる思いでおります。

さて、私は今後の高校教育の目指すべき方向性について次のように考えています。

二十一世紀は、新しい知識・情報・技術が、政治・経済・文化をはじめあらゆる領域で重要性を増す「知識基盤社会」の時代であるといわれています。このような時代を担う生徒たちには、高校教育の場で必要な資質や能力を身に付けさせる必要があります。その一つは、激しい社会の変化に対応しながら大量の情報を処理し解決する「問題解決能力」であり、もう一つは、異なる文化や言語を持つ人達と共同して新しいものを創造できる「人間関係能力」です。この二つの能力は、とくに知識理解を優先しがちな学校教育の脆弱性を突いていると同時に、世界で通用する日本人を育成する上で、極めて大切であると考えています。

この能力を身に付けることが「生きる力」ともなるわけです。

実は、私が考える高校教育の方向性は、本校が進めている「併設型中高一貫教育」と文科省指定の「SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業」に具現化されています。平成十九年に附属中学

報・技術が、政治・経済・文化をはじめあらゆる領域で重要性を増す「知識基盤社会」の時代であるといわれています。このような時代を担う生徒たちには、高校教育の場で必要な資質や能力を身に付けさせる必要があります。その一つは、激しい社会の変化に対応しながら大量の情報を処理し解決する「問題解決能力」であり、もう一つは、異なる文化や言語を持つ人達と共同して新しいものを創造できる「人間関係能力」です。この二つの能力は、とくに知識理解を優先しがちな学校教育の脆弱性を突いていると同時に、世界で通用する日本人を育成する上で、極めて大切であると考えています。

この能力を身に付けることが「生きる力」ともなるわけです。

実は、私が考える高校教育の方向性は、本校が進めている「併設型中高一貫教育」と文科省指定の「SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業」に具現化されています。平成十九年に附属中学

校に入学した一期生も五年目を迎える高校二年生となり、いよいよ中高一貫教育の真価が問われる時期に入りました。中高一貫の目的を再確認し、教職員が一丸となって教育に取り組む所存です。また、理数系に重点を置いたカリキュラム開発や大学等との連携による先進的な教育を行うことを目的としたSSH事業も二年目を迎え、より一層事業内容の精選と深化を求められています。三高がこれまで以上に保護者や同窓生をして地域の方々の信頼を得、確固たる地歩を築くためにも、この二本柱を効果的にリンクさせながら、生徒の進路実現を図ってまいります。

最後になりましたが、東京三高会の益々のご発展と、皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

十和田にお越しの際は、是非お立ち寄りください。校長室のドアは、いつでも開かれています。

会長メッセージ

### ふるさとを愛する気持は 東北復興の大きな「力」に

会長 佐々木文雄 (S36年卒)



春浅い三月十一日、東北太平洋沖で発生した群発地震は、想像もしていなかった大津波による大被害をもたらしました。千年に一度といわれる大震災の爪あとと余りに深く、被災地のきびしい現実はいかばかりでしょう。お見舞い申し上げます。

その復興への道のりは平坦ではありません。被災地では、お年寄りを助け、子供たちが驚くほどの粘り強さを見せています。また、若者がもう一度自分たちが育ったふるさとを甦らせようとしており、その姿に打たれます。幸いに被害が少なかった十和田市出身の私たちも、東北をふるさとにする同じ仲間。ふるさとを愛する気持は、東北の復興への原動力、日本全体を引っ張り続ける大きな「力」になると、私は信じます。

### 第33回東京三高会総会・懇親会

日時 平成23年7月2日(土)  
午後2:15 受付開始  
午後2:45~4:30 総会・懇親会

会場 日本記者クラブ(9階クラブ宴会場)  
千代田区内幸町2-2-1  
日本プレスセンタービル  
東京メトロ・霞ヶ関駅下車徒歩3分  
案内状に記載の地図を参照

電話 03(3503)2721

会費 男性、女性とも6,000円  
(年会費2,000円含む)  
新卒生の皆さんは無料招待

事務局 田制則子(S37年卒)  
連絡先は会報表紙上部に記載

★総会欠席会員の方へのお願い  
年会費「2,000円」を下記にお振込み願います  
(主に総会会場費・会報制作・発送などの費用です)  
郵便振込口座記号・番号  
0019-5-362825  
「東京三高会」宛

第三十三回「東京三高会」総会・懇親会は、七月二日(土)、昨年同様に霞が関の「日本記者クラブ(九階クラブ宴会場)」にて開催します。今回は新任された赤坂校長をお迎えしご抱負をうかがいます。一年ぶりの同窓の皆様との時間が楽しみです。若い人たちが気軽に集える会を目指し、Web上でも参加を呼びかけています。ぜひ多数ご参加ください。(相模原市在住)

市長メッセージ

### 魅力あふれる元気な 十和田市をめざして

十和田市長 小山田 久(S40年卒)



平素から市政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

この度の東日本大震災により、太平洋沿岸部では未曾有の大災害に見舞われました。当市においても停電や断水などの被害がありましたが、まもなく復旧したこともあり、現在、被災地への義援金や物資の提供をはじめ、医師や看護師、保健師の派遣のほか、当市が借上げた民間アパート等への被災者の受入れなどの支援活動に力を注いでいるところでございます。

被災地の一日も早い復旧・復興を心から祈念いたします。

さて、昨年十二月、私たちの悲

願でありました東北新幹線が全線開業しました。本市では、開業当日の四日「十和田古代馬絵巻」と題して、古代の民族衣装をまとった乗馬クラブや地元劇団の皆さんが、シンボルロードである官庁街通りを舞台にダイナミックに劇を上演し、馬の里「十和田市」を

### 馬のまち・十和田市 岡山新

古来、我々の祖先は蝦夷(えみし)と呼ばれていましたが、蝦夷の「夷」は、中華思想における東方の異民族のことであり、大きな力の語源から、好戦的な民族である



上期期待一杯のポスターが街のあちこちに下 駒街道を舞台に30頭の馬と人との勇壮な絵巻。スタッフのご苦勞に大拍手

強く印象付けながら、三千人の観衆を魅了しました。

このような馬にかかわるイベントや乗馬体験などをはじめとしたこの地に受け継がれてきた地域資源を生かして、自主的に地域課題の克服に取り組む市民の力こそ「ふるさと力」であり、まちづくり推進の大きな原動力であると考えています。

このほか、市民有志を中心としたB級グルメ「十和田バラ焼き」によるまちおこしや、市民との協働による特産農産物の付加価値化への取組みなどについても、手応えを感じているところです。

今後も「ふるさと力」を結集して、市民が「納得、満足、活躍」できるまちづくりに邁進して参りますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、東京三高会のご発展と、皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます。(四月七日記)



右 ロン・ミュエク作「スタンディング・ウーマン」(写真提供 十和田市現代美術館)

### 美術館の朝に想う

十和田市現代美術館 特任館長 小林央子(S60年卒)

美術館が開館する午前9時、私は9メートルの大きな窓のあるカフェに足を運びます。カラフルな花畑のような床は、台湾の作家マイケル・リンのインスタレーション。十和田の伝統工芸である南部裂き織りから着想を得たという巨大な作品の上に立ち、朝の光を浴びてみる。窓の外に目をやると足早に官庁街を歩き交う人々、キッチンからはカフェスタッフの笑い声。午前9時、美術館のカフェは実に美しい。その空間に包まれる度に、私は小さな幸せを味わいます。

3月11日、十和田市現代美術館にも悲しい非常日常が訪れました。停電の影響と、節電、メンテナンスで20日間の臨時閉館。美術館が開いていない、それは街にとって非常日常の状態でした。再開した4月1日は、街自体が華やいでした。

\*

先日、甚大な被害を受けた宮城県南三陸町へ足を運びました。アナウンサー時代に取材でよく訪れた場所、あの元気な漁師町はもうありません。瓦礫の砂漠、被災した人達の絶望がありました。と、

同時に闇のなかから這い上がる力、生きていこうとする力がみなぎっていました。以前お世話になったからと、町の水産加工工場へは全国から救援物資が送られてきます。町の人がずっと積み重ねてきた「徳」がいま「支援」という形で、疲弊した町を支えています。コミュニティとは、人と人の心の連結、その集合体であるという、とても当然のことに気がつきました。

コミュニティのなかで、美術館は、肯定的な体験をする場所、アートには、生きることを祝福するという使命があります。いま十和田では、美術館の活動を通して出会った市民有志が「Hearts Towada」という支援プロジェクトを展開し、美術館と協同で展覧会やチャリティーイベントを実施しています。募金や、十和田市内に居住することになった被災者達を積極的に支援する活動などを進めています。美術館のエントランスでは今日もフラワーホースが空に向かって嘶いています。身長4メートルのスタンディングウーマンは「何のこれしき!」と、どっしりと構えています。作品たちも、そこに集う人々も、皆な生きることを祝福していきたいのです。



# 写真で見る「馬のまち」アーカイブ ● 十和田市は、かつて馬で栄えた町だった

明治18年(1885)の開港から終戦まで、軍馬育成の中核を担ったのが軍馬補充部三本木支部、その規模は日本一を誇った。それは三本木が広大な地形と馬産の伝統を有し、幕末の福生川上水とまちづくりで開けた所だったからだ。この土地は南部氏の馬制により、優秀な「南部駒」の生産管理が古くから敷かれていたところ。遡れば源平合戦の頃には、数々の名馬を産した「駿馬文化」の地であったという……。

ふるさとの歴史を知るのには面白くて誇らしい。「十和田市郷土館」「十和田市立新渡戸記念館」「称徳館」は郷土の歴史を大切に記録した資料の宝庫、ゆっくり足を運んでみては。  
(協力:十和田市立新渡戸記念館)

- ① 軍馬補充部入口(昭和初期頃)
- ② 産馬通りの風景。写真正面に太素塚の鳥居が見える(大正15年頃)
- ③ 三本木産馬組合の敷地内で青森県中央馬市場が開催。(明治末頃)
- ④ 軍馬で働く娘達。当時若い男女は軍馬補充部三本木支部で働くことを誇りとしていた(昭和15年頃)



- ⑤ 戦後も農業や運搬に欠かせない馬のせりは、町の経済を支えた(昭和33年頃)
- ⑥ 大平競馬場。現在の東北町に明治39年に完成し昭和6年まで続いた(大正元年頃)
- ⑦ 馬ソリは、冬の大切な乗り物。
- ⑧ 南部駒踊(洞内)南部盛岡藩における野馬捕りの様子を舞踊化。現・県無形民俗文化財(昭和27年頃)



資料写真 ①②十和田市立新渡戸記念館所蔵資料、③④「目で見ると十和田・三沢・上北の100年」、⑤⑥「写真集 明治・大正・昭和 十和田」(工藤祐編)、⑦「市制施行50周年記念 駒の里」より



郷土玩具「八幡駒」(写真提供 称徳館)

町なかだから親も安心安全。冬のスキーやソリ遊びの格好の場所、小さい子もみんなでよく遊んだ。「馬糞拾い」路上の馬糞を集めさせられた。動物の小屋のわらと混ぜて堆肥にして田畑に撒いていた。干して燃料にもなった。男の子の家の手伝いの一つ。

「馬小屋校舎」端から端までなんと全長約二四〇メートル。軍用の馬を育てた小屋は、ひとつと増えていく戦後つ子の三中校舎に。雨天の時は長い廊下で部活ランニング。

「蹄鉄鍛冶屋」町に出たついでに馬車や馬ソリが寄っていた。おじさんが馬の脚のところがみ込んで外したり付たりしていた。待つ間の馬の目がやさしかった。

「馬肉」肉屋には、いつも馬の赤い肉があった。刺身も鍋も馬肉育ち。そういえば、牛肉は東京で初めて口にしたかも。味噌味がしみた馬肉とゴボウが入った鍋、ふるさとと味！

「木彫りの駒」日本三駒のひと味。十和田出身者にとっては必須の飾り物。親が東京に行くときははなむけにくれた。だから郷土玩具というより、お守りなんだと思っていた。

## 帰省したら馬と遊ぼう!

**十和田市馬事公苑「駒こランド」**  
http://www.komakkoland.jp  
馬産の町、先人たちの開拓の夢に思いを馳せて欲しいと実現した馬の文化資料館「称徳館」、実際に馬と触れ合える「駒こ牧場」、休憩や食事ができる「交流館」の3つの施設があります。その他、巨大馬型滑り台「UMA(ユーマ)」、東北有数の長さ誇るローラー滑り台などの遊具が充実。一日中楽しめる馬のテーマパークです。

**十和田乗馬倶楽部「馬の動物園」**  
http://www.jtng.con/thrc  
中野渡利彦氏が会長を務めるTHRC(十和田乗馬倶楽部)は、「かけがえないパートナーとして馬を愛し、馬と遊び、社会に活用する」と氏が熱く語るように、乗る・過ごす・学ぶ・楽しむことを通して、馬の魅力を体験できる観光牧場。

**ノースビレッジ**  
http://www.novi.jp/  
奥入瀬溪流・十和田湖・八甲田山麓の自然をじっくり楽しむのいい。プナの森のホーストレッキングなど企画がたくさん。



写真「市制施行50周年記念 駒の里」より。昭和34年頃

十和田市には馬の団体として、北里大学、三本木農業高等学校、空荷の馬車やソリに乗せてもらい、子供心にわくわくしたものです。モノが溢れ、あまりにも便利になりすぎた現在。世界一のスカイツリーに沸く首都圏では、相変わらず消費型の経済が止まりません。都市型経済システムと取り残される地方経済との落差。そんな中で東北に大震災が起きました。同じ東北、自然の大切さを伝えていきたいと思います。十和田市は馬のまち。市が大切にしてきた「馬」の歴史文化を次の世代に伝え、観光資源として貢献していけたらと考えています。

**馬** と人  
で  
ご  
つた返す「馬  
セリ市」。市  
内に出ていく

十和田馬術協会、駒こランド、十和田乗馬倶楽部の五つがあり、約二〇〇頭の乗用馬が、それぞれ特色を出し合って「馬のまち十和田市」を盛り上げております。市民の誇り「駒街道」。十和田市現代美術館に「フラワーホース」というシ



上 春の野を散歩/下右 桜流騎馬/下左 駒フェスタにて撮影4点とも、和田光弘 写真集「駒の里」「駒街道」より

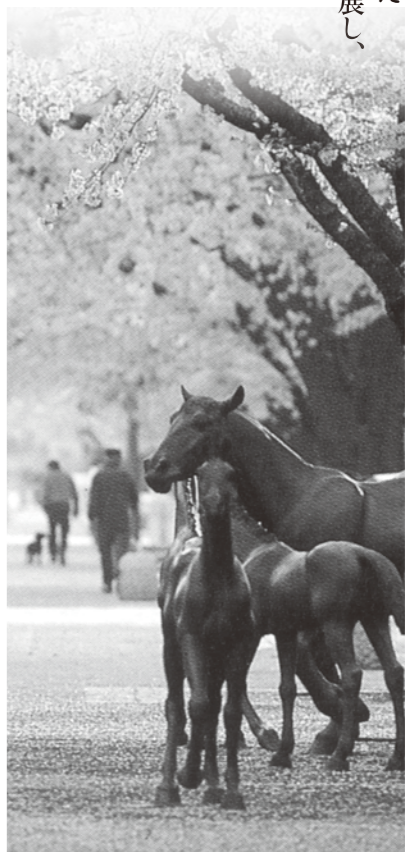
ンボルホースも加わり、「馬」によるまちおこしに「役買つています。十和田市の「馬」の主な祭事をご紹介します。これらの催しものは、十和田乗馬倶楽部の動画サイトで見る事ができます。一度ご覧下さい。そして、ぜひ本物も現地で体験を。お待ち申し上げます。

- 4月 「桜流騎馬(さくらやぶさめ)」。満開の桜の下で行われる、通算八回目の女性だけで競い合う日本唯一の競馬会。
- 6月 「十和田乗馬倶楽部フェスタ」。一般の方々に施設を開放し、馬と触れ合う機会を提供。乗馬や馬車の体験、ホースショーやカントリダンス、100台を超えるアメリカンバイクのパレードや農家バザーなど盛りだくさん。
- 10月 「十和田駒フェスタ」。収穫祭を兼ねた馬のまち十和田の最大イベント。2日間、200頭以上の「馬」が中央公園に勢ぞろい。
- 12月 「クリスマスパレード」。馬に乗ったサンタクロース100人が子供たちにプレゼントを届けます。
- 2月 厳寒の八甲田「地吹雪トレッキング」。後藤伍長銅像茶屋(青森)から谷地温泉(十和田)までの約20キロを「馬」で縦走。

# 馬と人と大自然が共生するまちづくり

十和田乗馬倶楽部代表 中野渡利彦

十和田市の中心「駒街道」。かつて全国で最大の規模を誇った「軍馬補充部三本木支部」があった場所。町は馬とともに発展し、暮らした中にも、いつも馬への親しみが溢れていた。その歴史は特徴あるまちづくりの基盤となっており、十和田市の未来へとつながっている。



馬の彫刻が多数配された駒街道 鈴木徹・作「慈しみ」



十和田市の人気マスコット 駒松(こまつ)くんと駒桜(こざくら)ちゃん (写真提供 十和田市観光課)

## 馬のまち育ちの「思・い・出」語り

「産馬通り」太素塚に向かう産馬通りは、かつて産馬組合へと続く、町一番の大通りだった。国道4号線との交差点には三十番という停車場があった。バスや馬車が行き来し、いつも人で賑わっていた。

「おセリ」産馬組合(現、パンコ屋)の辺りで馬・牛のセリがあり、産馬通りにテント張りの店がずらりと並んだ。男衆の活気が子供には少しこわかった。瀬戸物の味噌を買った。ゴマやクルミの味噌をつけて焼いたそば餅の匂いはおセリの思い出。

「馬ソリ」切田から町まで国道4号線を馬ソリで買い物に行った。ゴム長に雪スケート、ノッペをはいて走っているソリにつかまって、よく叱られた。でも誰もがやっていた冬の遊び。

「馬放平」今の北里大学の辺りの野原。昔は、女子は行くも男は行かないと言われた。秋は味噌と肉だけ持って行ってキノコ。冬はソリやスキー遊び。季節を通して一番の野遊びの場所だった。

「回(穴)」軍馬のための池の跡だった凹地。今の郵便局辺りにあって、



### 三高卒業おめでとう——H23年3月卒のみなさん

#### 野田頭 滉貴くん

私は、城西大学に進学しました。三高時代、クラスメイトや部活のチームメイトなど良い仲間や友達に恵まれていたと思います。大学でも持ちまへの明るさで多くの友達を作りたいです。一人暮らしを始めるのは期待以上に不安でいっぱいですが、それでも城西大学に進学を決めたのは「夢」を持っているからです。

私は患者さんの立場に立って接することができる薬剤師を目指しています。その理想に近づくために薬学と栄養学の知識を身につけます。大学生活でいろいろなことを経験して一人前の大人になるよう努力し、親をはじめ私に関係する人々への感謝の気持ちを忘れずに過ごします。

#### 数牛勝太くん

私は、東京学芸大学に進学しました。この大学に合格することができたのは、多くの先生方や、友達、家族のお陰と感謝しています。部活動や学校行事、授業などとても楽しい毎日を送りました。サッカー部では毎日厳しい練習を仲間と共に乗り越えてきました。すばらしい先輩や監督、仲間、後輩に巡り会うことができました。学校行事では、準備から後片付けまでの一つ一つが最高の思い出となりました。新生活への不安は隠せませんが、サークル活動やアルバイトなど、やってみたくての期待も大きなものです。多くの人々との出会いを通して自分の人間性を高め、小学校の先生になることが目標です。これから起こるこ



学園祭。右から二人目が数牛くん

とすべてを、三高で学んだことを活かして乗り越えていきます。

#### 久保田 葵紗さん

私は三高時代、女子サッカー部に所属してました。高総体・新人戦共に東北大会出場を目標に練習に励んでいました。日々の練習は苦しいながらも楽しいものでした。その練習で培われた集中力と体力で受験勉強を乗り切り、明治大学に進学しました。

東京での一人暮らし、大学生活など初めてのことがばかいです。今まで両親や友達に頼ってきた面は、これを機に自立し精神的にも成長したいと思っています。不安と期待でいっぱいですが、国際系の仕事に就くという将来の夢に、一歩近づける勉強ができてと思うととても楽しみでなりません。勉強だけでなくサークルやアルバイトも、何事にも積極的に行動し、大学生活をより良いものにしていきます。

#### 赤沼 朋子さん

私は、春から東京の大学に通っています。中学の頃からの目標であった大学生活に期待をもって準備を始めていた矢先に東日本大震災が目の当たりにしました。実際に見た漁港やテレビの報道での被災地の状態は悲惨で言葉が出ませんでした。その後、友人と安否を確認し合いながら、高校生活での学校行事や部活、受験勉強で私たちは次々と壁を乗り越えてきたことを思いました。だから、今年卒業し新たな一歩を踏み出した私たちが、復興への力となりたいたいと思いました。三高で培った、何事にも前向きに向き合えばやり遂げられるという自信を持ち、これから様々な事に挑戦します。常に支えてくれる両親や先生方、友人に感謝し夢に向かって努力していきます。

西野賢三先生 招待恩師としてご出席以来、東京三高会に毎年ご出席くださりましたが、平成二十三年一月二十八日、肺炎のためご逝去、86歳でした。東京郊外の八王子に引越されたことが分り連絡をとりました。私たちの学級担当の先生だったので、同期会があるたびお誘いし、いつも同級生の友達のようにならぬように親しく遊んでいただきました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(S29卒生代表)



前列中央で楽しそうな先生

### 思いやりの大切さをもち続ける 看護師よ育て

齋藤孝子 (S55卒) 看護教員

中学の時、数学が楽しく感じられる教え方をしてくれた先生に出会いました。そんな教師になりたくて迷うことなく三本木高等学校を選びました。三高では自分を奮い立たせ自信へと繋がる教育を受けたと感じます。また同じく教師を目指す友人がいて、学びの楽し

さを味わうことが出来ました。そんな3年間でしたが、いつの間にか数学ではなく母と同じ看護師の道を選び進歩しました。当時担任の目時義隆先生が、「君は頑張り屋さんだから大丈夫」と背中を押してくださり、無理かなと思っていた聖路加国際病院に勤務し看護師のあるべき姿を学びました。結婚退職して10年後看護師として復帰、管理職となった時、自分の道に誇りをもてる看護師を育てたいと40歳後半に資格を取り、今は看護教員をしています。

友人との楽しい旅 右端が齋藤さん

でも、いつも何かに向かっていたいと思えるのは、学生時代に出会った友の影響かもしれない。卒業後それぞれの道を歩んでいますが、偶然にも近所に住んでいた友人とばったり会った事から、東京近郊にいる数人と機会ある毎に集まることに。そのおかげで「自分が大切にしていたもの」

を失わずにいられた気がします。自分を飾ることがなかった学生時代からの友は、利害関係もかしまることもなく、自分の感じたこと、思っていることを伝えられるものです。昔のままに孝ちゃんと呼ばれ、しわがあるのに「なあに？」と、18歳の時と同じ返事ができるなんて幸せ以外の何ものでもありません。高校時代に得たものは学業はもちろんですが、何ものにも代えがたい友人です。今も、これからも大切にしていきたい仲間です。

ました。今受け持っている学生達には、あの日以来、自らが被災者でありながらも頑張っている看護師の姿に人への思いやりの大切さを見て、自分が歩む看護師としての道の尊さや使命感を心の底から感じています。その思いを持ち続ける看護師を育てることを私自身の教員生活の目標として、もう少し頑張っていきます。(横浜市在住)

### 訃報

西野賢三先生 招待恩師としてご出席以来、東京三高会に毎年ご出席くださりましたが、平成二十三年一月二十八日、肺炎のためご逝去、86歳でした。東京郊外の八王子に引越されたことが分り連絡をとりました。私たちの学級担当の先生だったので、同期会があるたびお誘いし、いつも同級生の友達のようにならぬように親しく遊んでいただきました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(S29卒生代表)

### 高校生の時の出会いから 与えられた歩み

武藤富久子 (S42年卒) 図書館ボランティア

高校生だった私は、思春期と向き合っていたように思います。生きることの意味を考え、本を読みあさり、何かを捜し求めていました。そんな時「ヘレンケラー」の映画を見て、とても感動しました。三重苦の女の子が水にさわって「ウォーター」と初めて言葉を発した喜び、そこから世界が広がっていき姿が描かれていました。ヘレンケラーに生きることの意味と喜びを教えたサリバン先生のような人になりたいと思ったのです。



手袋人形をする武藤さん

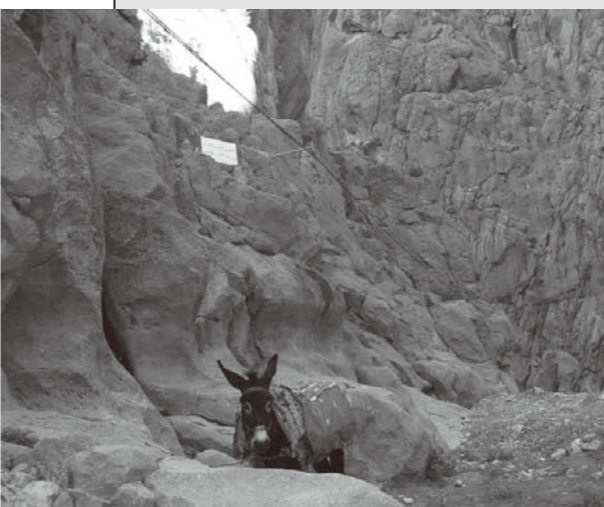
そして、大学卒業後は養護学校に勤め、ハンディキャップのある子供たちと過ごすことになりました。いろいろな障害がありながら、どの子も伸びようとする生命力があること、言葉をもたない子もコミュニケーションの力を持っていること、純真な笑顔のかわいいこと……子供たちと喜びを共にした時は、いつも幸福でした。また、あるがままの我が子を愛している、すてきなお母様たちに出会えたことも、大きな宝物となり、いろいろなことを学びました。小学校の

特別支援学級にも勤めました。教員生活を終えて3年になりました。退職をして、すぐ図書館に行きました。そして、本の読み聞かせのボランティアをすることにしました。特別支援学級にも絵本、手袋人形、パネルシアター、紙芝居などを持って行き、子供たちと楽しんでいきます。これも、高校生の時に沢山本を読んで、本が好きになり、子供たちにもその喜びを伝えたいからだと思います。また、月一回、日曜日に地域のハンディキャップのある子供と親御さんと、いろいろな遊具や音楽を

馬に関連したことをと依頼されましたが、故郷には馬に造詣が深い方が多いと思いますので、ここではウマは馬でも、小生が沙漠の調査で大変世話になっている、わが相棒ロバ(学名:Equus asinus)について紹介することとします。

世紀はその負の遺産を蘇生するという課題(エネルギー、CO<sub>2</sub>、食糧、水資源などの問題)を背負いました。人間は生活の快適性向上のための手段をこれ以上自然界に求めたいけないのです。生態環境を維持するためには果敢な自然への挑戦ではなく、調和しか残されていないのであります。

私はサハラ沙漠でロバに乗ろうとしたら傍にいたアラブ人に止められたことがあります。ロバは史上最悪に酷使される畜畜とされ、アフリカでは姦通罪者はロバに乗せられるとか、ギリシャ神話では水夫が魔酒を飲んでロバにされたとか、中国では魔粥を食べてロバにされたといわれ、軽蔑の具とされる何とも哀れな家畜だからです。といっても、交通機関が無いところでは背に腹は替えられず、時々口上の人となっています。



乾燥地方においても物資の運搬は例にもれず車社会に移行しては、ラクダやロバは欠かせないのです。酷使され、働けなくなると、普通の料理では食えないと、最後に挽肉・メンチカツにされるとは、これ哀れなDonkeyなり……。(多摩市在住)

### 頑固もの「ロバ」を愛する

高村弘毅 (S31年卒) 元立正大学学長

この世に生を得た最も不幸な生き物、その運命は、無毛の沙漠に聞こえる甲高い、腹を裂かれるような悲痛な鳴き声に似て何とも哀れでなりません。しかし反ってその哀れさが、紅色の砂丘が日没と共に鉛色のカーテンに替わる頃、砂漠景観の清澄な神秘と、マイクから流れるコーランの渾身の響きがオアシスに木霊(こだま)して、見事な調和を創り出しているのではありません。

「沙漠の舟」と重宝がられるラクダの次に乾燥に強く、灼熱の炎天下二、三日水なしでも働ける優れものにも拘わらず、征服者はアラブ種の白馬からラクダに乗り、征服された者はロバに乗るといいます。

乾燥地方においても物資の運搬は例にもれず車社会に移行しては、ラクダやロバは欠かせないのです。酷使され、働けなくなると、普通の料理では食えないと、最後に挽肉・メンチカツにされるとは、これ哀れなDonkeyなり……。(多摩市在住)



三高の今

工藤亨一教諭(S50年卒)

トピックス

その1部活動報告 平成二十二年度も、文武両道の精神で大変優秀な成績を収めました。

〈運動部〉県高校総体で準優勝はソフボール、サッカー女子、少林寺拳法女子。秋季県新人戦で準優勝

勝は空手道男子、サッカー女子、なぎなた、少林寺拳法女子。附属中学校も活躍し、県中学校ハンドボール大会で優勝。



その2「三本木夢と生命の森」プロジェクト報告 植樹二年目となる平成二十二年度は、

「大人の植樹祭」に六十一名がご参加、千八百本の植樹、午後はダッチオーブンの料理を囲んで楽しいひとときを過ごしました。

七時 場所/富士屋ランドホテル 会費/四〇〇円 連絡先/三高同窓会事務局(電話〇一七六一三三四一八一)

【三本木高校の生徒数と進学状況】

平成23年3月1日 卒業生

Table showing graduation statistics for March 1, 2021, with columns for gender and total count.

平成22年度 進学状況 (複数校の合格者数含む)

Table showing university admission statistics for the 2020 academic year, including public and private universities.

4年制大学進学者 192人 83.8%
進学者数 200人
進学率 87.3%

平成23年度 生徒在籍数 (入学者数)

Table showing student enrollment statistics for the 2021 academic year, broken down by grade level.

Table showing enrollment statistics for the 2021 academic year, broken down by course type.

三本木高校のホームページをぜひご覧ください。
http://www.asn.ed.jp
(青森県教育ネットワーク)からも入れます。
母校の状況、同窓会情報などいろいろ検索できます。

東京三高会役員

(任期:平成21年7月~平成23年7月総会まで)

- List of board members including名誉会長, 顧問, 相談役, 会長, 副会長, 理事, 会計, 監事 with their names and graduation years.

東京三高会 オフィシャルサイト いよいよ公開!
東京三高会WEB 絆は世代を超えて
http://tokyo-sanko.net/
或る日、東京在住の卒業生の重なる思いが一つの渦になり、産声あげた東京三高会。

「大人の植樹祭」に六十一名がご参加、千八百本の植樹、午後はダッチオーブンの料理を囲んで楽しいひとときを過ごしました。
その3「平成二十三年度 本部同窓会総会・親睦会」のお知らせ
和田市在住の多くの恩師の方々をご招待しています。

会員の皆様へお願い
東京三高会は、二〇一三年には創設三十五周年の節目を迎えます。本校、和田市と会員の「絆」を結び、会費の目的とし、会報の充実も図っております。